

## 東京都立産業技術高等専門学校は、情報セキュリティ 技術者育成に関する産学連携協定を締結しました ～株式会社サイバーディフェンス研究所、株式会社FFRI～

平成29年9月25日に、東京都立産業技術高等専門学校（以下、「産技高専」という。）は、株式会社サイバーディフェンス研究所、株式会社FFRIとそれぞれ情報セキュリティ技術者育成に関する産学連携協定を締結しました。

本協定の目的は、産技高専における情報セキュリティ技術者育成や学生の教育研究に関する事業等を相互に協力して実施することで、昨今の多発するサイバーセキュリティ事案を契機に必要性が高まっている情報セキュリティ人材の育成に取り組んでいくことにあります。

本校は、平成28年4月より、産技高専・品川キャンパス電子情報工学コースに「**情報セキュリティ技術者育成プログラム**」を新設し、高度な専門知識と技術・技能を兼ね備えた中核技術者の育成を開始しています。株式会社サイバーディフェンス研究所、株式会社FFRIの協力により、日々高度化するサイバー攻撃の最新の状況に即した、より実践的な教育プログラムを実現していくことができると考えています。今回の産学連携協定により、これまで以上に、東京都における情報セキュリティ人材の輩出に貢献していきます。

### <本協定に基づく協力事項>

- 情報セキュリティ技術者育成に関すること
- 学生の教育及び研究に関すること
- その他両者が合意した事項

【問合せ先】 東京都立産業技術高等専門学校  
電話：03-3471-6331

## 「情報セキュリティ技術者育成プログラム」について

本プログラムは、東京都の「2020年に向けた実行プラン」事業として実施しています。

### 1 背景

- 近年、日本年金機構のウイルス感染、世界規模でのランサムウェア攻撃など、全世界的にサイバー攻撃が激増
- 今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催やIoTの普及などにより、情報セキュリティ対策は喫緊の課題
- 一方、経済産業省が平成28年6月に発表した試算によると、情報セキュリティ人材の不足数は13.2万人となっており、情報セキュリティ分野における人材の育成は急務

### 2 目的

産業界及び社会ニーズを踏まえた、情報セキュリティ分野の実践的な教育プログラムを提供することにより、多くの人・企業・情報が集まる首都東京の情報セキュリティを担う人材を育成する。

### 3 プログラム概要

#### <内容>

情報セキュリティを担う人材を育成するため、平成28年4月より、実習を主体とした情報セキュリティ教育プログラムを実施。実習では、実際に情報システムを構築・運用し、サイバー攻撃によって引き起こされるインシデントを実際に体験しながらその対応法を身につける。

【例】情報倫理、各種サーバの構築、構築したサーバの脆弱性の修正、典型的なサイバー攻撃手法や監視手法の理解、実社会のネットワークモデルにおける攻撃法や防御法の習得、チーム対戦型のサイバー攻撃・防御ゲームの実施 等

#### <対象>

品川キャンパス電子情報工学コース 3～5年生（各学年20名程度）

※高専とは、中学卒業後から5年間（専攻科進学の場合、7年間）一貫の実践的専門教育を行い、産業の幅広い分野で活躍できる実践的・創造的技術者の育成を目指す高等教育機関です。

## 産学連携について

産技高専においては、「情報セキュリティ技術者育成プログラム」を開始した平成28年度より、日々高度化するサイバー攻撃の最新の状況に即した、より実践的な教育プログラムを実現するため、情報セキュリティ教材の開発、学生の教育研究、教員の研究に関する事業等を産業界と連携して実施し、必要性が高まっている情報セキュリティ人材の育成に取り組んでいます。

- 現在、情報セキュリティ技術者育成に関する産学連携協定を締結している企業は、以下の11社です。（締結順）  
株式会社シマンテック、富士通株式会社、富士電機ITソリューション株式会社、株式会社ラック、株式会社オプティム、株式会社シーアイイー、大日本印刷株式会社、株式会社インフォセック、株式会社ディーゴ、株式会社サイバーディフェンス研究所、株式会社FFRI